



NISSHA

2023年12月期
第2四半期
決算説明会

2023年8月8日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

鈴木順也

ハイライト

2023年12月期 第2四半期（H1）の実績

- Tailwinds
 - Q2は前回予想比で好転、H1は赤字想定から黒字へ転換
 - メディカルテクノロジーはCDMO（開発製造受託）の需要が堅調、収益性の改善が継続
 - 産業資材はモビリティ向けの需要が堅調、収益性が改善
 - デバイスはタブレットのモデルミックスが正常化、収益性が改善
- Headwinds
 - H1を通して巣ごもり消費の終焉やサプライチェーン在庫の調整による影響が継続

2023年12月期（通期）の見通し

- 通期の売上高、営業利益は変更なし
- H1に発生した為替差益による金融収益を反映し、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益の予想を上方修正
- H2想定為替レート： ¥130/ \$

2023年12月期 Q2（3カ月）の実績

Q1比で黒字転換、各事業で収益性が改善

(百万円)

	2022 Q2 実績	2023 Q1 実績	2023 Q2 実績	前年同期比 (2022 Q2比)		前四半期比 (2023 Q1比)	
売上高	46,804	42,430	40,574	▲13.3%	▲4.4%		
産業資材	19,383	17,073	16,975	▲12.4%	▲0.6%		
デバイス	17,645	14,807	13,031	▲26.1%	▲12.0%		
メディカルテクノロジー	7,924	8,525	8,793	+11.0%	+3.1%		
その他	1,850	2,024	1,773	▲4.2%	▲12.4%		
営業利益	3,773	▲ 671	✓729	▲80.7%	✓黒字化		
営業利益率	8.1%	-1.6%	1.8%	-6.3pt	+3.4pt		
産業資材	1,864	519	✓927	▲50.3%	✓+78.5%		
デバイス	2,260	▲ 868	▲ 333	-	-		
メディカルテクノロジー	▲ 6	496	✓531	黒字化	+7.1%		
その他	▲ 344	▲ 818	▲ 395	-	-		
税引前利益	5,984	▲ 791	✓1,879	▲68.6%	黒字化		
親会社の所有者に帰属する四半期利益	4,622	▲ 784	✓1,585	▲65.7%	黒字化		
為替レート	¥123/\$	¥131/\$	¥134/\$	-	-		

2023年12月期 H1（6カ月）の実績

営業利益が前回予想比で黒字化

(百万円)

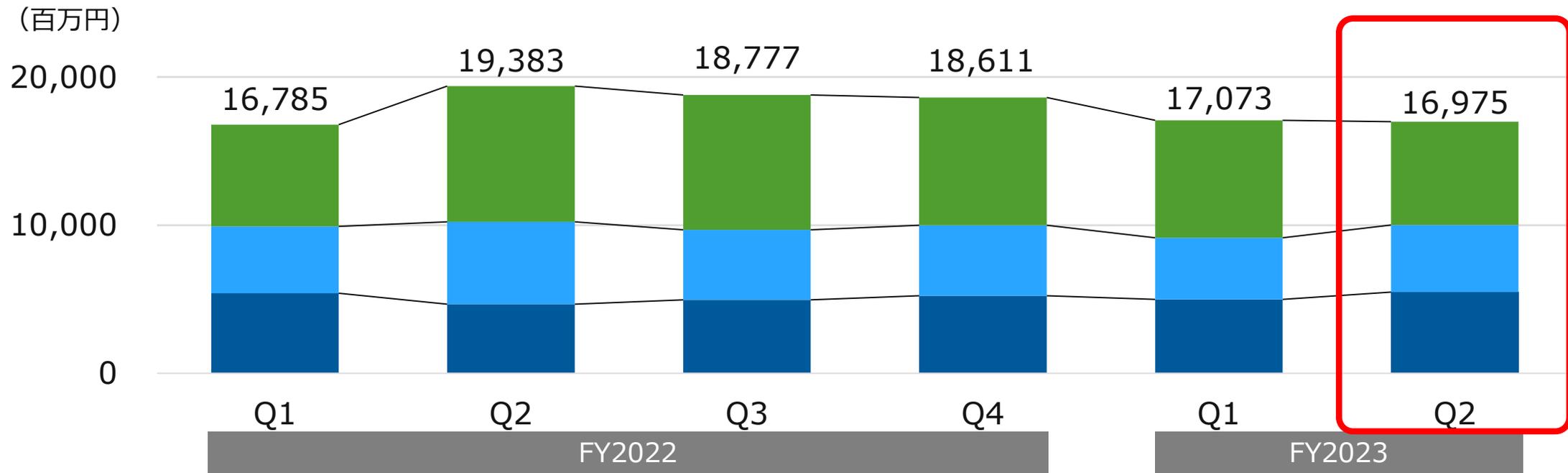
	2022 H1 実績	2023 H1 前回予想	2023 H1 実績	2023 H1	
				前年同期比 (2022 H1比)	前回予想比
売上高	88,217	83,000	83,005	▲5.9%	+0.0%
産業資材	36,169	34,200	34,049	▲5.9%	▲0.4%
デバイス	33,603	28,000	27,839	▲17.2%	▲0.6%
メディカルテクノロジー	14,610	17,000	17,318	+18.5%	+1.9%
その他	3,833	3,800	3,798	▲0.9%	▲0.1%
営業利益	6,267	▲ 800	✓ 58	▲99.1%	✓ 黒字化
営業利益率	7.1%	-1.0%	0.1%	-7.0pt	+1.1pt
産業資材	3,393	1,100	1,446	▲57.4%	+31.5%
デバイス	3,683	▲ 1,200	▲ 1,202	-	-
メディカルテクノロジー	0	1,000	✓ 1,028	-	+2.8%
その他	▲ 808	▲ 1,700	▲ 1,214	-	-
税引前利益	9,549	▲ 900	✓ 1,087	▲88.6%	黒字化
親会社の所有者に帰属する四半期利益	7,903	▲ 1,100	801	▲89.9%	黒字化
為替レート	¥118/\$	¥131/\$	¥132/\$	-	-

産業資材

- 加飾（モビリティ）は製品需要が堅調
- 蒸着紙はサプライチェーン在庫の調整が継続

用途別売上高

- サステナブル資材（蒸着紙など）
- 加飾（家電その他）
- 加飾（モビリティ）

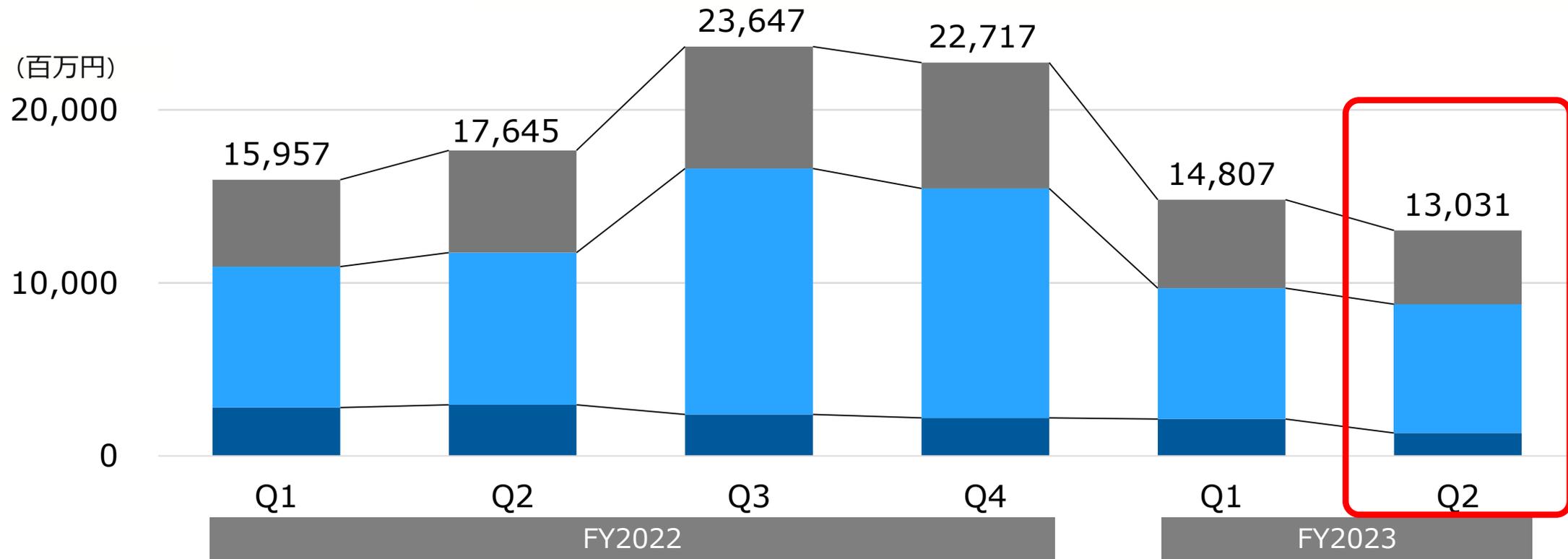


デバイス

- タブレットのモデルミックスはQ2に正常化、収益性が改善
- 産業用端末向けの需要低迷が継続

用途別売上高

- ゲーム機・産業用端末（物流関連）・モビリティ向け、ガスセンサーなど
- タブレット向け
- スマートフォン向け

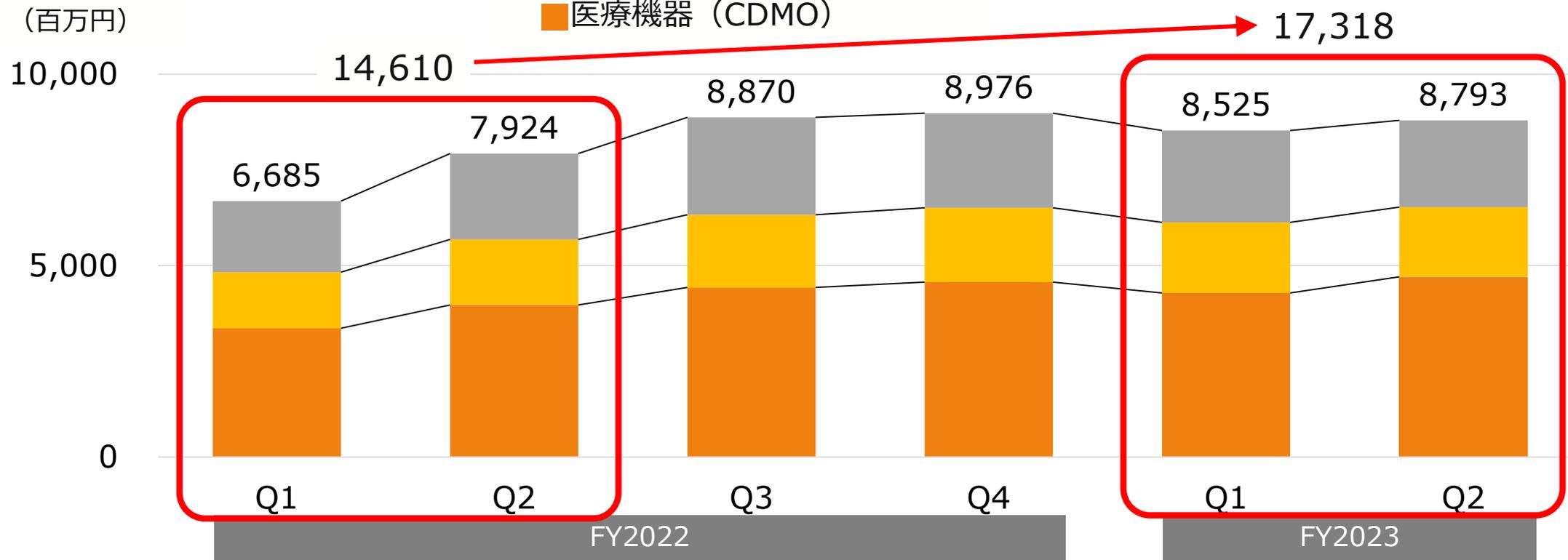


メディカルテクノロジー

- 前年同期比で18.5%増加、CDMOの需要堅調
- 利益率の改善が継続（生産性・効率性の改善）

用途別売上高

- ビジネスメディア
- 医療機器（自社ブランド）
- 医療機器（CDMO）



業績予想（通期）の修正

通期の売上高、営業利益は変更なし

H1の金融収益（為替差益）計上を反映し、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益を上方修正

（百万円）

	前回予想（5/11発表）			今回予想（8/8発表）		
	FY2023 通期 予想	FY2023 H1 予想	FY2023 H2 予想	FY2023 通期 予想	FY2023 H1 実績	FY2023 H2 予想
売上高	174,500	83,000	91,500	174,500	83,005	91,495
産業資材	70,500	34,200	36,300	70,500	34,049	36,451
デバイス	60,500	28,000	32,500	60,500	27,839	32,661
メディカルテクノロジー	35,200	17,000	18,200	35,200	17,318	17,882
その他	8,300	3,800	4,500	8,300	3,798	4,502
営業利益	2,500	▲ 800	3,300	2,500	58	2,442
営業利益率	1.4%	-1.0%	3.6%	1.4%	0.1%	2.7%
産業資材	3,400	1,100	2,300	3,400	1,446	1,954
デバイス	100	▲ 1,200	1,300	100	▲ 1,202	1,302
メディカルテクノロジー	2,100	1,000	1,100	2,100	1,028	1,072
その他	▲ 3,100	▲ 1,700	▲ 1,400	▲ 3,100	▲ 1,214	▲ 1,886
税引前利益	2,000	▲ 900	2,900	✓ 3,100	1,087	2,013
親会社の所有者に帰属する 当期（四半期）利益	1,000	▲ 1,100	2,100	✓ 2,000	801	1,199
為替レート	¥130/\$	¥131/\$	¥130/\$	¥131/\$	¥132/\$	¥130/\$

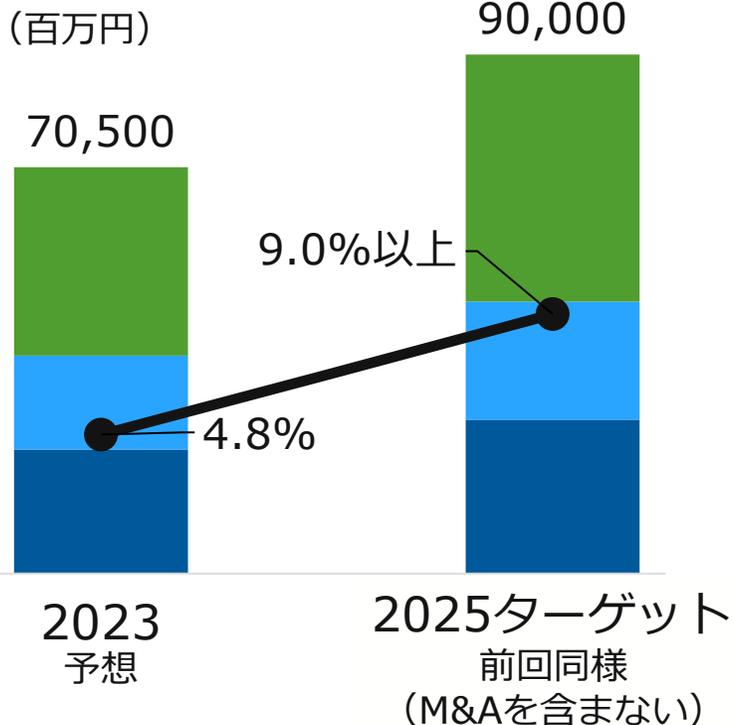
中期の展望（～2025年）

- 事業機会、競争ポジションに変化なし

産業資材

- 新製品が成長を牽引
(モビリティ、サステナブル資材)

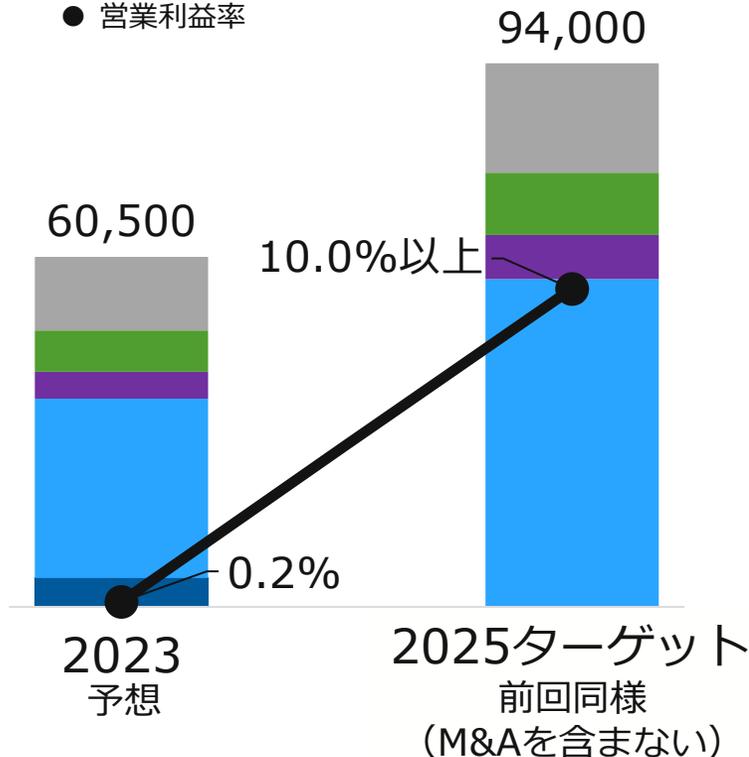
■ サステナブル資材 ■ 加飾（家電その他）
■ 加飾（モビリティ） ● 営業利益率



デバイス

- 2024～：タブレットの製品グレードアップ

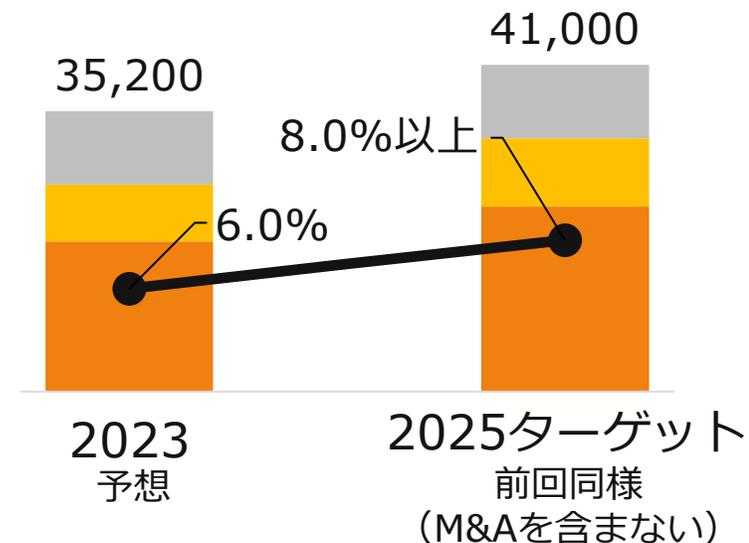
■ その他 ■ ガスセンサー ■ モビリティ向け
■ タブレット向け ■ スマートフォン向け
● 営業利益率



メディカルテクノロジー

- 医療機器CDMOが拡大

■ ビジネスメディア
■ 医療機器（自社ブランド）
■ 医療機器（CDMO） ● 営業利益率



モビリティ新製品の受注が拡大

<社会課題>

快適性

車室空間の居住性向上

サステナビリティ

環境負荷の低減

利便性
安全性

ヒトとクルマの
コミュニケーション向上

快適性

車室空間の居住性向上

<新製品>



内装向け 加飾×機能



外装向け フィルム加飾



外装向け 加飾×機能

<既存製品>



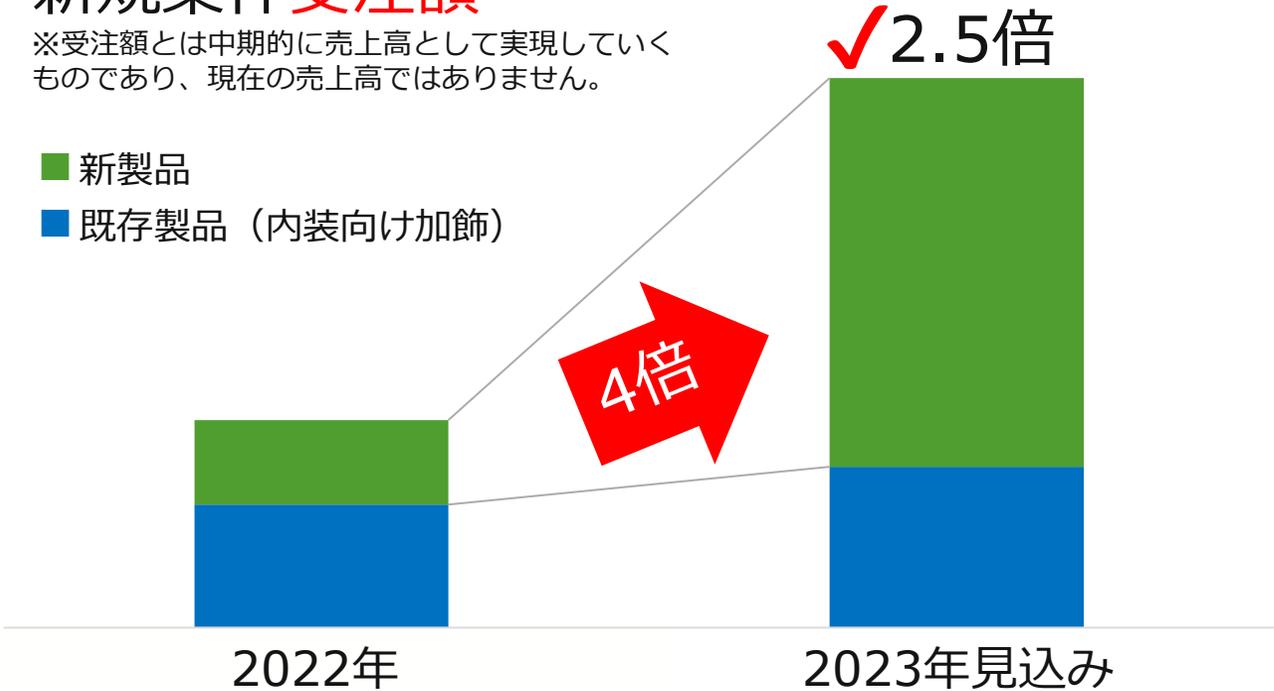
内装向け 加飾

●モビリティ市場の社会課題の解決に 当社の新製品が貢献

- 2023年の新規案件受注額は、2022年比で2.5倍に拡大
→ 新製品は既存製品に比べて付加価値（単価）が上昇
- EV車種での採用が広がる

新規案件受注額※

※受注額とは中期的に売上高として実現していくものであり、現在の売上高ではありません。



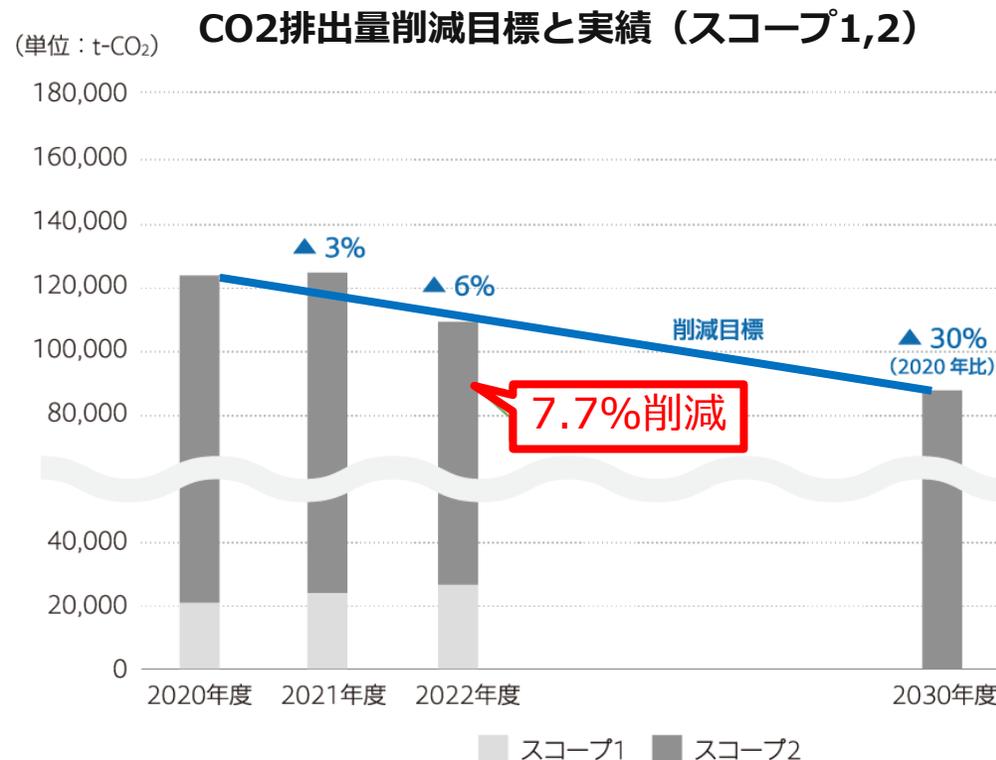
サステナビリティへの取り組み

ESG推進部
副部長 吉田 尚子

気候変動への取り組み

●CO2削減の取り組み

- 2030年に向けてCO2総排出量を30%削減、2022年は7.7%削減（2020年比、スコープ1と2）
- スコープ3 排出量の把握を進め、算定の対象範囲を拡大



スコープ3 排出量把握の取り組み

- カテゴリーごとの該当を確認
- 15カテゴリーのうち9カテゴリーで該当することを確認

該当するスコープ3のカテゴリー	
カテゴリー1	購入した製品・サービス
カテゴリー2	資本財
カテゴリー3	スコープ1,2に含まれない燃料・エネルギー活動
カテゴリー4	輸送・配送（上流）
カテゴリー5	事業から出る廃棄物
カテゴリー6	社員の出張
カテゴリー7	社員の通勤
カテゴリー11	販売した製品の使用
カテゴリー12	販売した製品の廃棄

人的資本への取り組み

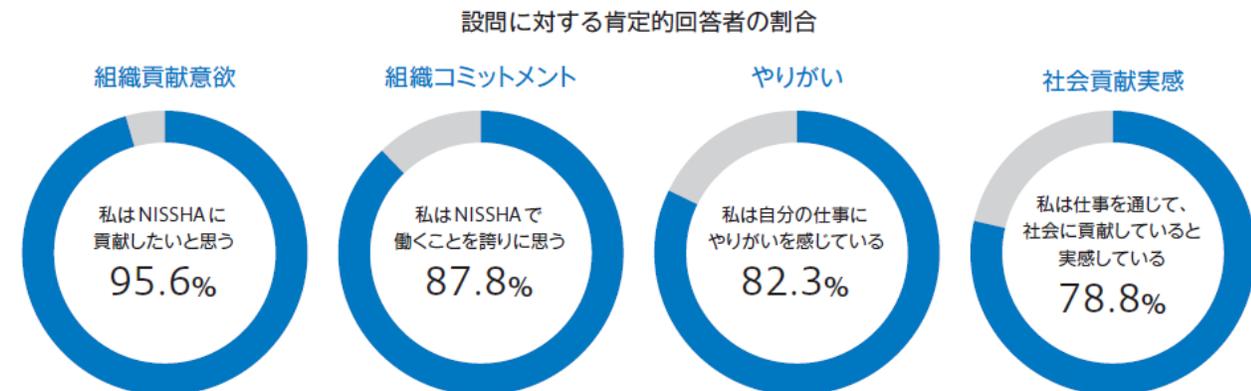
●多様な人材の活躍

- 当社のShared Values（価値観）で「Diversity and Inclusion」を表明
- 「女性管理職比率」を「女性社員比率」に近づけることを目標

	女性管理職比率			女性社員比率
	2021年末	2022年末	2023年末見通し	2022年末
グローバル連結	20.0%	↗ 21.5%	21~22%	36.9%
日本（NISSHA単体）	5.4%	↗ 5.9%	↗ 7.0~8.0%	27.7%

●エンゲージメントサーベイ

- 回答率83.0%（国内・海外合計）
- 結果に対する要因を分析・改善
- すべての社員が情熱をもって働く風土を高めていく



情報開示の充実と外部評価

●当社の取り組み

- Nissha Report（統合報告書）
 - CEOメッセージを核とし、NISSHAグループの強みを活かした価値創造の考え方を示す
- サステナビリティレポートでの開示の充実化
 - 非財務情報の詳細を網羅的に掲載
- TCFDのフレームを用いた気候変動情報の開示
- 上記をもとに、定期的に株主・投資家のみなさまと対話



Nissha Report 2023（統合報告書） NISSHAサステナビリティレポート2023

●外部評価

- MSCI ESG格付において、「AA」評価（最上位から2番目）を獲得
 - 当社の人事基本方針に基づいた人事制度の運用が高く評価された

MSCI
ESG RATINGS



CCC	B	BB	BBB	A	AA	AAA
-----	---	----	-----	---	----	-----

(参考) ESGに対する当社の外部評価

● ESG評価機関



- CDP: 気候変動レポート2022において「B」評価

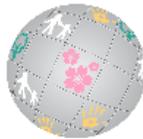


- MSCI ESG Ratings「AA」評価

● インデックス ● GPIF 5指数のうち4指数採用



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



2023 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

● 認定



2022
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500



(ご参考)
 設備投資・減価償却費及び償却費・M&A投資・
 研究開発費 (2023年)

(百万円)

	第1四半期 (1-3月) 実績	第2四半期 (4-6月) 実績
設備投資	1,817	729
減価償却費 及び償却費	2,250	2,270
M&A投資	2,611	359
研究開発費	1,095	1,132

本プレゼンテーションに掲載されている情報および決算説明会・カンファレンスで提供される情報のうち業績の目標、計画、見通し、戦略、その他過去の事実ではない情報については、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含みます。実際の業績は、経済動向、市場需要、為替の変動などのさまざまな要因によって大きく変わる可能性があります。